



実務家の経験を

税理士の川本洋氏が岡山 井尻昭夫学長と人材

グローバルな視野を持つ地域ビジネス・プロフェッショナルを養成する岡山商科大学大学院商学研究科の客員教授に、今年度から、同大学OBで、税理士法人パートナーズ（岡山市）代表社員の川本洋氏が就任した。学問としての会計に加え、実務家としての20年の経験を生かして学生たちを指導し、目標達成をサポートする新たな取り組み。川本氏と井尻昭夫学長に、客員教授就任の狙いや今後の目標などを語ってもらった。

—客員教授としての抱負。

川本 客員教授の話をいただきありがたいことだし、光栄だと思った。大学で学んだことを、いかに社会で現場に応じて対応するかを教えることが、実務家である私の役割だと思っている。

井尻 一昔前の大学教員は研究重視で、しかも、授業は一方通行で抽象的な講義であった。世が変わり、大学の役割も変わってきた。実務家である川本先生の指導を通じ、理論と実務とのギャップの穴埋めができればと期待している。マーケティングには「顧客志向」といった重要な概念があるが、まさしく今日求められている高等教育は、そういった実務志向的な教育なのではないか。税理士を目指す学生に最高の講義を提供したいと思っている。

—税理士として第一線で活躍する川本氏を招へいた狙いは。

井尻 単一民族の弊害と言えのかもしれないが、日本では同じ土俵で競おうとする傾向が強いと感じている。隣の芝生は青く見えるということなのか、少子化対策が課題の大学で言えば、それぞれがオリジナルなものを打ち出していけばいいのに経営学部、教育学部など、同じ学部を各大学が開設してパイを奪い合っている。教員が教えることができる

のは抽象的な理論が中心。川本先生には我々が担うことのできない実社会の経験を踏まえた指導をしてもらうことで、学生たちは理論と現実の両方を“ドッキング”した形で学ぶことができる。客員教授をお願いした一番のポイントはまさにそこにある。本学は税理士資格取得者をこれまでに100人近く輩出している。さらにブランド化を図るために、実務家による指導を新たな売り物にしていきたい。

—学生の印象と、本業との両立は。

川本 学生たちと会ってみると、税理士になりたいという思いだけで、実際になった後のことを考えていないと感じることがある。また、客員教授として毎週講義することで自分自身をもう一度見つめ直し、20年前に学んだことを再度勉強するいい機会にもなっており、忙しいというより大いに刺激になっている。

会社というものは、社長と幹部・従



人材育成について熱い思いを語る2人

学生に伝える

商科大学客員教授に就任 育成について語る

業員の時間の使い方さえ間違わなければ自然に発展するものだと思っている。社長の業務は忙しいと言っても、内容を分析してみるとクレーム処理に振り回されていることも多い。私は、自分の時間の使い方を未来に7割、現在に3割を充て、過去のクレーム処理はゼロにすることを目指している。そして幹部には8割が現在の仕事、2割は私の未来の仕事を手伝ってもらい、現場の人には100%現在の仕事をやらせてもらう。こう整理すれば前にしか進まないはずで、未来の動き方が分かってくると前に進むことができる。

—学生への期待について。

井尻 「大学卒」という肩書きだけではもはや通用しない時代だ。税理士や公認会計士、ファイナンシャルプランナーなどの資格を大学・大学院で取得し、その武器を売り物に会社を渡り歩く社会が到来するかもしれない。昔のように終身雇用制で、忠誠心を持っていれば定年まで働けるという保証はない。そのことに早く気づき、大学でどんどん磨きをかけて資格試験に挑戦してもらいたい。

川本 岡山商科大学には税理士資格を取得するための環境は整っているし、サポートする先生もいる。明確な

目標を持たずに学生時代を過ごし、いったん社会に出た後に「もう一度大学で学びたい」という人が増えているが、社会人としてのキャリアを捨てて希望をかなえることができるのはごく限られた環境の人のみ。そのことに学生の間に気付いてもらいたいと思っている。

—客員教授としての講義以外に考えていることは。

川本 岡山商科大学OB税理士の会「商税会」を7～8月に設立する予定。最初は10人くらいのスタートになると思うが、1～2年後には50人を超え、将来は100人を超えるようにしたい。私は大学院の講義を担当するので文部科学省に提出した内容の枠をあまりはみ出すわけにはいかないが、OB会メンバーが交代で恩返しつもりで講演会などを開催したい。また、パートナーズが参画する（一社）M&A・事業再生支援センターの専門家を招き、実践的な指導をすることも可能だ。

井尻 本学の今年のキャッチフレーズは「社会力」。教員と実務家がいっしょになって若者を育てるスタイルは岡山商科大学ならではの。OBの力も借りながら、実務の分かるマルチ人間を育てていきたい。



For a Partner



税理士法人パートナーズ代表社員
川本 洋氏

総社市出身。1997年岡山商科大学商学部を卒業後、2002年に税理士資格を取得。03年に税理士法人パートナーズを設立。年間に相続、贈与の相談2000件以上に携わっている。41歳。



税理士法人パートナーズ

代表社員 税理士 川本 洋 (中国税理士会岡山支部所属)

税理士 村上 亮 税理士 砂原 洋一 税理士 笠井 紀子

税理士 川原 康寛 税理士 柳井 崇延 公認会計士 中谷 有希

その他29名(パート含む)

岡山事務所/岡山県岡山市北区下中野1222-9 TEL 086-246-4446

山陰事務所/島根県米子市加茂町2-204 米子商工会議所会館2階 TEL 0859-21-5169

松山事務所/愛媛県松山市東本2-1-13-102 TEL 089-948-9441

広島事務所/広島県広島市中区基町 広島商工会議所ビルディング7F TEL 082-962-8885

<http://www.zei-partners.com/>

検索